



さかみち

吉見町立西小学校
学校だより 第11号
令和5年1月10日

あたりまえのことがあたりまえにできる学校

謹賀新年

今年も、西小学校教職員一同、「すべては子供のため」をモットーとして指導にあたり、全力でお子様の成長のお手伝いをさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

令和5年も最強の西小学校で突き進む！！

令和5年の幕開けです。

17日間の冬休みを終えました。児童のみなさんは、充実した毎日を送ることができたでしょうか。また、各自の冬休みの目標に向かって、満足のいく生活が送れましたか。いずれにしても、今日から気分一新、3学期のスタートです。

今の学年での生活も、残すところあと3ヶ月です。学校に来る日数で言うと、今日を入れて修了式まで52日(6年生は、卒業式まで51日)です。たったの3ヶ月程しかありません。

卒業式や修了式では、「西小学校の児童で本当に良かった」「すばらしい令和4年度だった」と、思えるようにしたいものです。そのための序章が、すでに今日から始まっています。



「二度とない今」 真剣に思いを馳せる

「1年の計は元旦にあり」です。2学期最後の学校だより「さかみち」や終業式のお話の中でも触れました。児童のみなさんは、きっと覚えてくれていると思います。

1月1日の元旦、元旦とは1月1日の朝という意味ですが、新たな気持ちで新年を迎え、新しい目標を立てるのが、昔からの習わしです。

みなさんが新年に立てた抱負や夢を叶えることができれば、こんなにすばらしいことはありません。

目指すべきものが高ければ高いほど苦難も多いわけですが、逆にそれを乗り越えれば、達成した時の喜びも大きいものです。しかし、それが途中までしかやり遂げられなかったとしても、抱負や夢に向かって努力したことは、いつまでも自分自身の大きな自信となって残ります。決して無駄なことではありません。抱負や夢に向かって努力する過程こそ、もっとも大切にされるべきことです。

ですから、みなさんが新たな気持ちで描いた抱負や夢を1年間もち続けられるよう、また、みなさんが自信をもって自分の目標に向かって歩いていけるよう、西小の先生達はしっかりと支援していきたいと思えます。

いずれにしても、今日から3学期が始まります。この3学期は、進級や卒業を迎える年度末の学期であり、来年度への橋渡しとしても重要です。

「今日」という日を、あるいは「今」という一瞬をしっかりと過ごすことが大切です。今を逃したら二度と取り返すことができないからです。

「二度とない今」に真剣に思いを馳せながら、毎日を精一杯過ごすことを常に意識してください。

この令和5年が皆さんにとってすばらしい1年となることを願っています。そして、3学期も西小学校128人の力を結集して、西小学校136年の歴史始まって以来の最高な学校をつくっていきましょう。



「今年こそ！！」という勢いで「自分をしつける」

「今年はこれにチャレンジしよう」「今年はこれができるようになりたい」など、様々な新年の抱負をもち、3学期を迎えたことと思います。

その「今年こそ！！」という今の勢いを大切に、この勢いそのまま実行に移しましょう。

そして、この勢いで「自分の足りない部分」にも注目し、自分で自分をしつけてみましょう。3学期を迎えた西小学校のみなさんなら「自分のしつけ」ができるはずです。まずは、次の3つを心がけてみてください。

- 一 新年の決意や目標に照らして、今日の自分を反省し、同じ後悔をしないように努力する。
- 二 課題や自分の仕事は、最後までしっかりやり遂げる責任感をもつ。
- 三 他人のために自分の力が提供できる人、仲間からみて頼りにされる人になれるよう努める。

特色ある西小学校の教育活動

本校では、「楽しくなければ学校じゃない！」精神を根底においています。学習活動等のあらゆる教育活動の充実のためには、子供たちにとって西小学校での毎日が意義あるものでなければならないと考えるからです。そのため、教育課程を常に見直し、その工夫改善に取り組んでいます。

このたび12月5日(月)の西小HP(ブログ)でもお知らせしたとおり(公財)ベイシア21世紀財団より、本校が「令和4年度 特色ある教育活動に係る助成金」を受賞させていただきました。県内16団体が受賞したうちの1つが西小学校であり、大変に光栄なことです。受賞理由は「活動を真に子どもたちへ還元するPTA ～家庭との新しい連携の在り方～」です。

この助成金を活用して「マジックショー(12/2実施済み)」「1/20 大道芸人ショー」「2/15 デジタルショー(世界初のアニメ漫才)」をPTA活動の一環として実施します。

また、学校だより「さかみち第3号」でお知らせしましたが、学力向上策をさらに一歩先に進めるため「超体感型授業!! 空間を超えた学びの創造」に取り組んでいます。

これは、(公財)中谷医工計測技術振興財団より本校の理念が評価され、「令和4年度 科学教育振興助成校」に選定していただき、これまでに本校で数多く実施してきた理科実験教室は、この助成金を活用することによって実現しています。



ベイシア財団 中谷医工財団
(西小紹介ホームページ)

中谷医工財団 科学教育振興助成 成果発表会

先の記事で紹介した科学教育振興助成の成果発表会が、東京工科大学(東京都大田区)を会場として、昨年12月25日(日)に行われました。6年生児童2名と共に会場へ赴き、西小学校としての取組についてポスターセッションを行いました。

発表は2名の児童によってすべて進められ、北海道から九州までの小中高全93校を前に、堂々とやり遂げてくれました。参加者から多くの質問も寄せられ、その質問に緊張しながらも丁寧に答えている2人の姿がとても印象的でした。

いわば全国大会の場に西小学校が臨んだわけですが、2人の児童にとっても、そして本校にとっても、大きな栄光ですし、すばらしい経験になりました。

学校生活は、まだまだ続きます。本校では、日々の授業を基幹としながらも、これからも子供たちにとって「居がい」のある学校づくりに邁進していく所存です。



コロナ禍と学校教育活動の両立に向けて

本校では、文部科学省や埼玉県教育委員会等からの各種通知等に沿って学校運営を行っています。

昨年11月に、国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が変更され、飲食時における黙食の徹底が削除されました。また、マスクについては、活動場所や活動場面に応じたメリハリのある着脱が引き続き求められています。本校では、これらを受け、以下のとおり取り扱っていますので、保護者及び地域の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

- ① 給食の時間において、児童の間で会話をすることも可能としました。ただし、座席配置の工夫や適切な換気の確保等の措置は、従前どおりです。
- ② 体育の授業は元より、屋外での活動(業間での外遊び等)や登下校時は今までと同様に、積極的にマスクを外すよう促しています。

